



動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260-0017 千葉市中央区要町2番8号(DC会館)
電話 { (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043(222)7207 番
FAX 043(222)7187 番

2001.3.29 No. 5288

貨物2年連続ベアゼロ回答弾劾!

3・28第一波ストに89名が突入

貨物会社は、三月二十八日二〇〇一年度新賃金について、昨年に引き続きベアゼロ回答を強行した。

われわれは、怒りをこめてこの労働者への一方的に犠牲を転嫁した暴挙を弾劾する。あわせて休日増と引き替えにベアゼロを容認した日貨労を弾劾する。

新賃金の回答は、別紙のとおり「定期昇給のみ実施する」というものであり、あわせて「満五五歳の基本給の適用を受ける社員については賃金改善措置として、基本給に千円を加算する」という内容であった。また口頭で、年間休日数を三日増とする等を明らかにした。

**初めからベアゼロを公言
新フレイト21の破綻を自認**

新賃金交渉は、今年はその当初から会社側はベアゼロを公言してはばからなかった。八年連続となる赤字決算の中で新フレイト21の破綻を自認し、「八年連続の赤字会社などは本来存続できない」などと、昨年度での新賃金交渉とはうって変わった展望喪失を吐露し、端からベアなど論外という態度で終始した。

しかし貨物会社で働く労働者とその家族にとって、うち続く低賃金攻撃は生活を直撃し、毎年年収が前年より下がるという状況は、もはや耐え難いものとなっている。

**第一波スト貫徹
さらに第二波ストへ総決起を**

こうした中で動労総連合は、三万八千円の大幅賃上げとともに貨物会社に対しては、生活改善一時金の支

払いを要求し、貨物ベアゼロ回答打破を今春闘の柱のひとつにすえた。昨日三月二十八日には、東日本・貨物あわせて八九名が二四時間の第一波ストを貫徹し、千葉市民会館で総決起集会をかちとるとともに、千葉支社への抗議行動を闘いぬいた。さらに四月一、二日の第二波スト体制を総決起体制を確立しよう。

回 答 書

平成 13 年 3 月 28 日
日本貨物鉄道株式会社

平成 12 年度は、全社員の懸命な努力にもかかわらず、災害等の影響などから大幅な収入減となり、遺憾ながら 8 期連続の経常赤字が必至となっています。

平成 13 年度は、「新フレイト 21」計画の総仕上げの年であり、不転換の決意をもって経常黒字を達成しなければなりません。

そのためには、全社員が認識をひとつにして、安全・安定輸送の確保、積極的な営業による収入確保、コスト削減を行わなければなりません。

社員のみなさんが、職務に精励していることは会社もよく理解していますが、会社として必要なことは、総力を結集して、この難局を乗り越えることだと思います。

平成 13 年度の新賃金については、定期昇給のみ実施することとします。

55 歳以上の社員の賃金改善措置

平成 13 年 4 月 1 日現在、満 55 歳の基本給の適用を受ける社員（管理職社員は除く。）については、賃金改善措置として、基本給に 1,000 円を加算する。